

# 播磨町地域防災計画 概要版

令和6年1月

播磨町では地域防災計画の見直しを行いました。『播磨町地域防災計画概要版』は、住民の皆様へ、地域防災計画の役割や知っていただきたいことを質問形式で整理したものです。

地域防災計画の全文は、播磨町ホームページに掲載しています。

播磨町地域防災計画



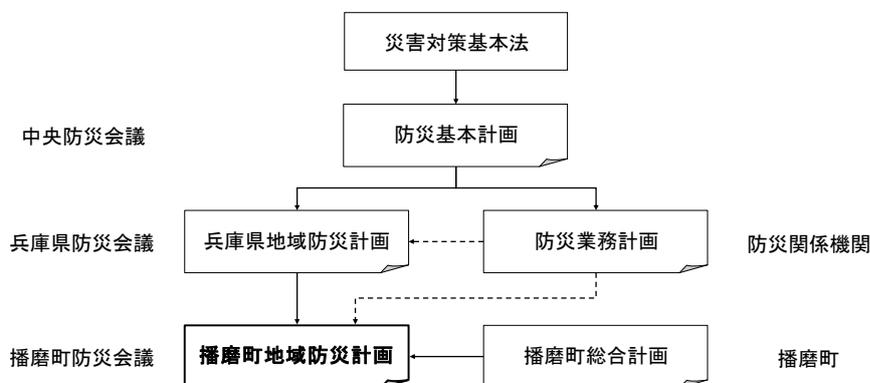
## 質問 地域防災計画とは、どのような計画ですか？



(回答) 地域防災計画は、町の防災対策に関する基本的なことを定める計画です。

- 播磨町地域防災計画（以下、町防災計画）とは、我が国における防災対策に関する基本法である災害対策基本法に基づく、町における防災対策を示した計画です。
- 町防災計画は、町が主体となり、播磨町防災会議の審議等の意見を踏まえて、作成されます。

<播磨町地域防災計画の位置づけ>



## 質問 地域防災計画はどのような内容ですか？



(回答) 計画編（全4部）と資料編で構成しています。

- 主に町が実施する行政の計画ですが、住民の皆さんや自主防災組織の役割など、地域での取り組みに関連する内容を含んでいます。

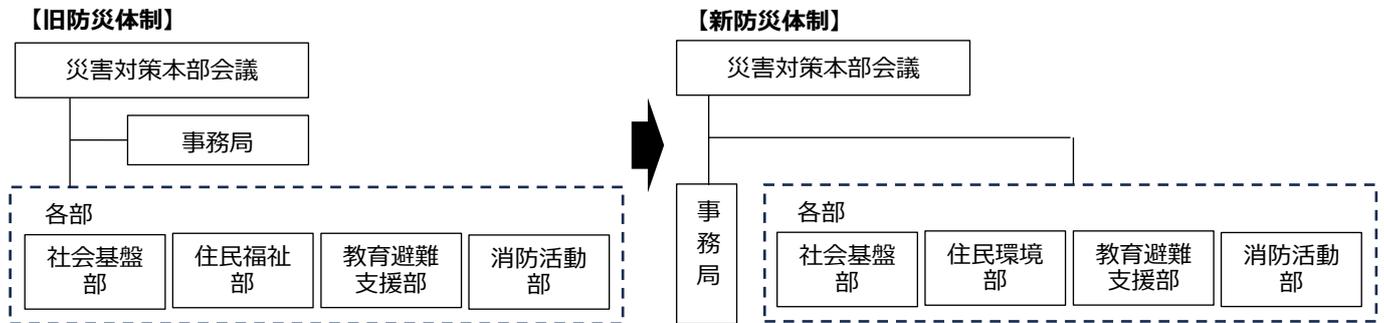
編	主な内容		
【計画編】	第1部	総則	計画の趣旨や、町で想定される災害、町がめざす防災体制など、防災計画全般に関わる事項を示しています。
	第2部	災害応急・復興計画	災害発生のおそれのある警戒期から災害発生初動期、応急期、復旧期、復興期までの一連の事態に対して、時系列に即して、どのような対策をとるべきかを示しています。
	第3部	災害予防計画	町の防災理念に基づき、3つの目標、9つの政策、48の施策体系の中に、112の個別事業を位置づけ、平常時から取り組むべき計画を体系的に示しています。
	第4部	その他計画	南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づく南海トラフ地震防災対策推進計画のほか、広域一時滞在対策計画を示しています。
【資料編】	各種様式、要綱・要領、協定等を示しています。		

## 質問 どのような点が見直されましたか？



(回答) 播磨町の組織体制が変わったことによる防災体制や、防災・減災に向けた町の取組内容等の見直しを行いました。

- 令和4年10月の町の組織体制にともない、防災体制等を見直しました。見直しにより、「事務局」を中間的立ち位置から総合的な位置へ変更し、各部で判断できる組織を目指します。



- 町の防災理念「みんなの力で災害に強い播磨をつくる -避けられたはずの犠牲を出さないために- いつか必ず起こる災害にみんなで備える」に基づいて、下記のような町の取組内容を見直しました。

町内の医療体制等を確立するため、町内における災害対応医療従事者の子育て支援体制を検討します。



応急仮設住宅等の建設は時間がかかるため、公営住宅等の空き室を提供するなど既存施設を活用することを検討します。



避難所のマンホールトイレの設置を推進します。また、町職員向けの設置方法講習会を実施します。



- また、防災訓練等の強化や性的マイノリティ等への配慮、安否不明者等の氏名等の公表等を行います。

町全体の防災力を向上させるため、全町総合防災訓練等を企画・実施します。

### 防災訓練



避難所では高齢者や乳幼児等の災害弱者と言われる方や性別、性的マイノリティを有する方など、様々な方に配慮します。



県と連携して安否不明者等の氏名等を公表し、要救助者をできるだけ早期に把握し、救助活動を効率化・円滑化します。



- 播磨町は、上記のような取り組みをすすめ、災害発生後の被害を抑えるために、災害応急活動体制の整備を進めます。また、地域の防災力の向上や、防災施設や設備の整備を推進し、被害を出さない「防災」だけでなく、被害を極力抑える「減災」の対策も進めます。

## 質問 播磨町ではどのような災害が想定されていますか？

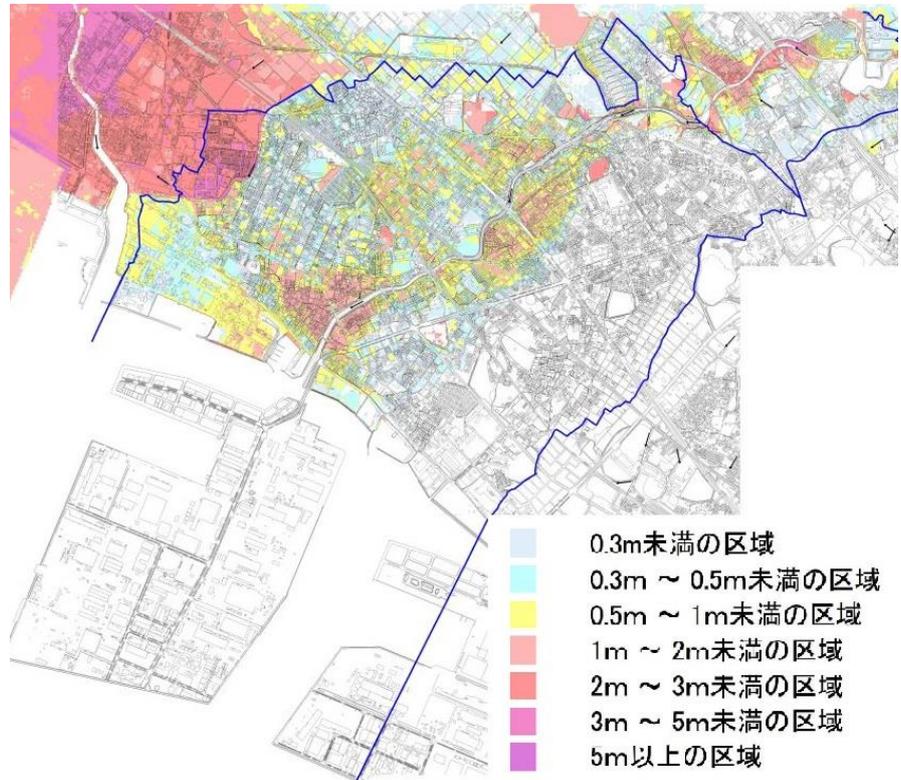


(回答) 大雨による被害及び高潮による浸水想定が行われています。大雨、高潮のどちらにおいても、町内で 5m 以上浸水するところがあると想定されています。

### 【大雨による浸水被害想定】

- 加古川、水田川、喜瀬川で浸水想定が行われています。
- 各河川において 1/1000 年確立規模以上（1 年の間に発生する確率が 1/1000 以下）になるよう設定した降雨による被害想定によると、喜瀬川流域および喜瀬川以北地域で浸水が想定されています。

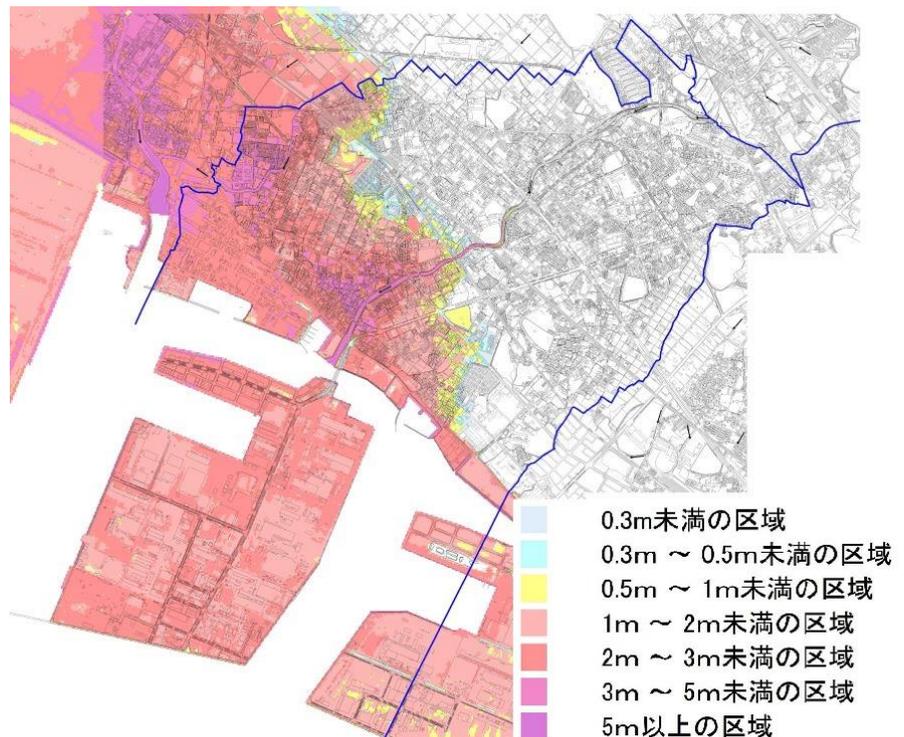
加古川・水田川・喜瀬川想定最大規模降雨の浸水区域



### 【台風等に伴う高潮による浸水被害想定】

- 過去日本に接近した最大規模の台風（室戸台風規模：中心気圧 910hPa）が、満潮時に通過した場合の浸水被害が想定されています。
- 沿岸地域及び水田川周辺で、高潮による浸水が想定されています。

高潮浸水予測区域

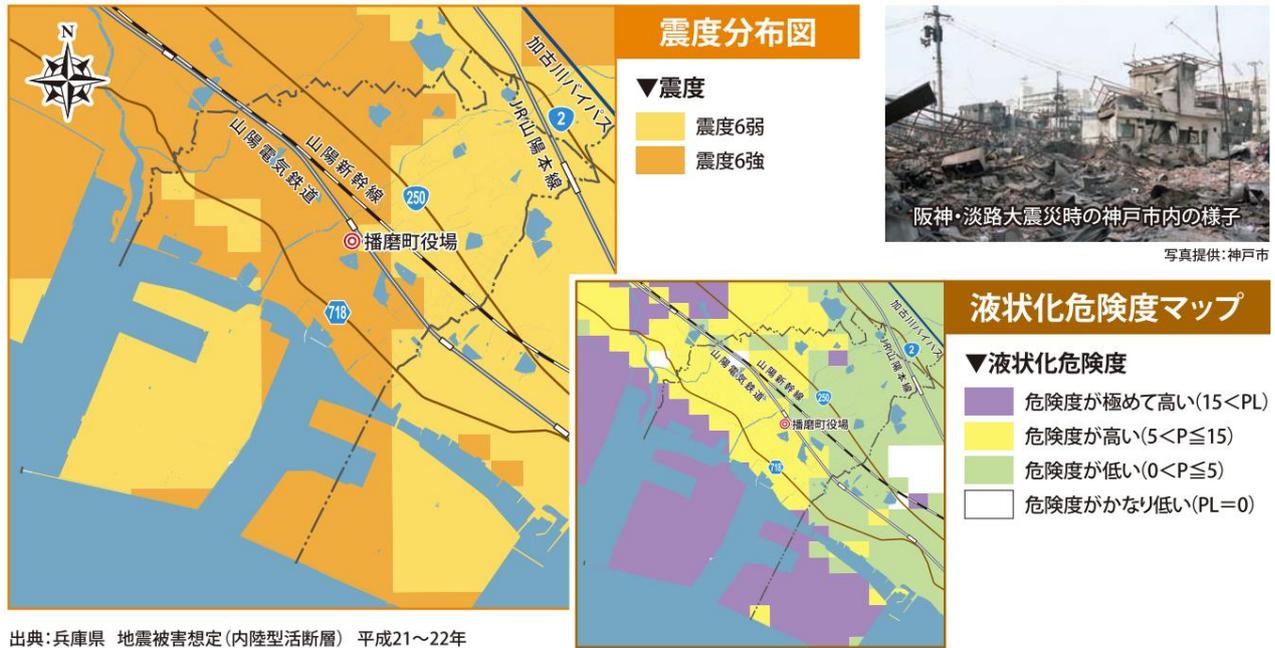




(回答) 町内に大きな被害を及ぼすと考えられている地震は「山崎断層帯地震」と「南海トラフ巨大地震」です。どちらも、町全域で震度 6 弱～ 6 強となることが想定されています。

### 【山崎断層帯地震】

- 山崎断層帯地震が発生すると、播磨町では最大震度 6 強、建物全壊・焼失 908 棟（建物の 14 棟に 1 棟の割合）、建物倒壊・火災等による死者 58 人の被害が予想されています。
- 町の広い範囲で液状化の危険が懸念されます。



### 【南海トラフ巨大地震】

- 南海トラフ巨大地震が発生すると、播磨町では最大震度 6 強、建物全壊・焼失 354 棟（建物の 36 棟に 1 棟の割合）、建物倒壊・火災等による死者 21 人の被害が予想されています。
- 兵庫県以外の府県でも甚大な被害が想定されているため、他の地震被害想定に比べて復旧・復興に時間がかかることが想定されます。



※上記 2 つの想定ともに、建物全壊・焼失数は冬 18 時、死者は冬 5 時の場合。割合は町の建物総数 12,800 棟、人口 34,700 人として計算。

## 質問 災害に備えて、私たち住民は、何をすればよいですか？

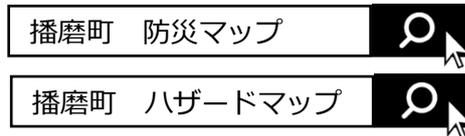


(回答) 自分や家族の命を守るための準備をしてください。

- 災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。避難が必要な方は、避難に備えた準備を進めてください。なお、安全な場所にいる人まで避難所・避難場所に行く必要はありません。災害の危険が少ない方が避難所・避難場所へ避難し、感染症に感染することがないように、また避難された方に感染させることのないように、自分の避難行動について事前に検討しておきましょう。

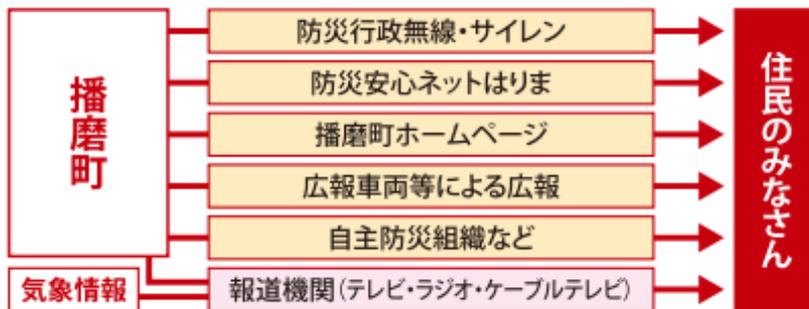
### ①ハザードマップを確認しましょう

ハザードマップで自分の家のある場所が危険かどうか、事前に確認しましょう。ハザードマップは、「播磨町総合防災マップ（令和3年5月作成）」、「播磨町WEB ハザードマップ」で見ることができます。着色された区域にお住まいの方は、播磨町からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。



### ②正しい情報の収集先を確認しましょう

町からの避難情報は下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



電子メール等で配信される「防災安心ネットはりま」やテレビによる情報などから情報収集してください。

### 防災安心ネットはりま(携帯電話/スマホ等)

「防災安心ネットはりま」のHPから、地震や台風等の防災情報をメールで受信できるように登録できます。以下のURLからアクセスしてください。

防災安心ネットはりま <http://bosai.net/harima/>

メール配信サービスは、防災安心ネットはりまの【かんたん登録はこちら!】からか、以下のメールアドレスに空メールを送信し、案内に従って登録してください。

登録用メールアドレス⇒ [harima@bosai.net](mailto:harima@bosai.net)



### テレビによる情報の入手例

- 1 NHK総合テレビを表示し、リモコンの「d(データ放送)」ボタンを押してください。
- 2 リモコンの矢印で「防災・生活情報」に合わせ、「決定」ボタンを押してください。
- 3 お住まいの市町(テレビに設定している郵便番号で判定)から情報が発信されていれば、「避難情報」「避難所開設情報」ボタンが赤くなるので、選択するとそれぞれの情報が表示されます。※県内のどこの地域にも情報がない場合は、ボタンがグレーになります(選択できません)。



dボタンの位置や形状は機種によって異なります。



# 質問 台風や大雨の時には、特にどのようなことに注意すればよいですか？



(回答) 気象情報や避難情報、周辺の状況に注意して早めの避難をしてください。

- 播磨町は、避難が必要となる段階の避難情報を発令します。
- 警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために 5 段階にレベル分けしたもので、播磨町が避難情報と合わせて出す情報です。

## ①危険な場所から、警戒レベル3「高齢者等避難」で<避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は避難>、警戒レベル4「避難指示」で<全員避難>しましょう

## ②警戒レベル5「緊急安全確保」はすでに<災害が発生>しています

警戒レベル5が出てもまだ避難できていない場合は、自宅の2階以上など、少しでも安全な部屋に移動したり、すぐ近くに安全な建物があればそこに移動するなど、命を守るための最善の行動をとってください。

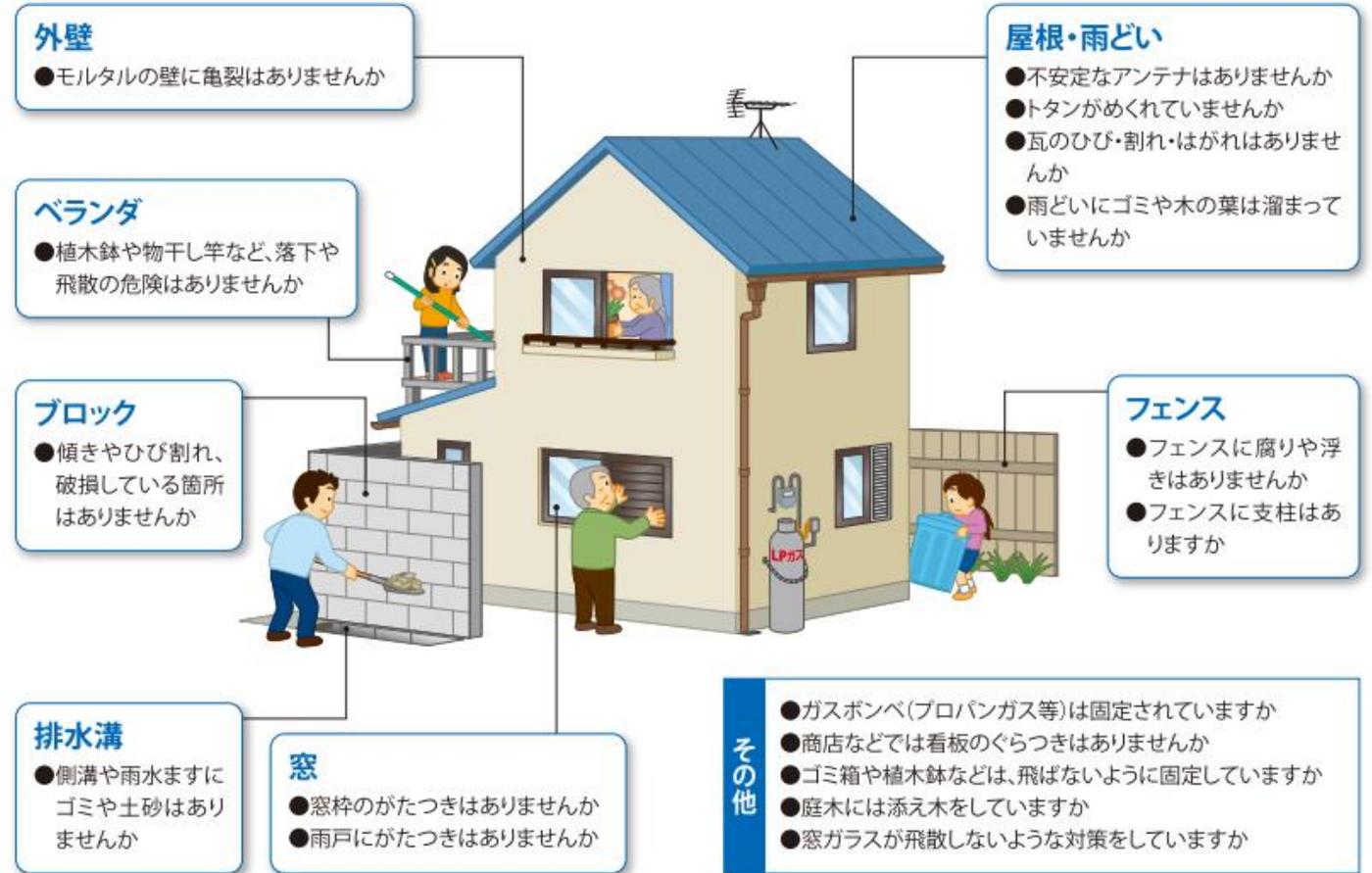
ただし、氾濫・浸水した水が引くまでに長期間を要する場合や、電気、ガス、水道といったライフラインが止まる恐れもあります。警戒レベル5が出る前に早めに避難をすることがもっとも大切です。

警戒レベルと 行動を促す情報	状況	と 取るべき行動
<b>警戒レベル 1</b> 早期注意情報※6	今後 気象状況悪化 のおそれ	最新の防災気象情報を確認し、災害への心構えを高めましょう。 ※6 警戒レベルの現象が5日先までに予想されているときに、その可能性の高さに応じて「高」、「中」の2段階で発表
<b>警戒レベル 2</b> 大雨・洪水・高潮注意報	気象状況悪化	播磨町総合防災マップなどで自らの避難行動を確認しましょう。 また、P.2の避難行動判定フローと合わせて確認しましょう。
<b>警戒レベル 3</b> 高齢者等避難	災害の おそれあり	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> 避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方)は、危険な場所から避難しましょう。 高齢者等以外の人にも必要に応じて、普段の行動を見合わせたり、危険を感じたら自主的に避難しましょう
<b>警戒レベル 4</b> 避難指示	災害の おそれ高い	<b>危険な場所から全員避難</b> 危険な場所から全員避難しましょう。 避難先までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。 避難方法は2つあります。状況に応じて適切な避難行動を取りましょう。 ① 浸水が始まる前に <b>水平避難</b> ⇒ 自主避難所や避難所へ避難しましょう ② 避難途中で危険を感じる、すでに浸水が始まっているときは <b>垂直避難</b> ⇒ 津波避難ビルや自宅の2階等へ避難しましょう 詳しくはP.5水平避難と垂直避難を確認してください。
<b>&lt;警戒レベル4までに必ず避難!&gt;</b>		
<b>警戒レベル 5</b> 緊急安全確保※7	災害発生 また 又は切迫	<b>命の危険 直ちに安全確保!</b> 災害が発生・切迫している状況です。避難場所等への避難が安全にできない場合は、自宅や近隣の建物で緊急的に安全を確保しましょう。



(回答) 日頃から、風雨が強まる前に、家の周辺の確認等をしてください。

- 台風や大雨などによる被害を最小限にとどめるために、日頃から家屋やその周囲の点検・修理・補強を行い、十分な風水害対策を講じておきましょう。



## 質問 地震の時は、どのようなことに注意すればよいですか？



(回答) 身を守る行動を取ってください

### ①地震発生時に外出しているとき

- 鉄道・バスでは、つり革、手すりにしっかりつかまりましょう。
- エレベータでは、最寄りの階に停止させ、すぐに降りましょう。
- 屋外、街中ではブロック塀の倒壊や看板、割れたガラスの落下に注意しましょう。
- 自動車運転中は、急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度を落とし、ハザードランプを点灯して、周囲の車に注意を促しましょう。



## ②地震発生時に自宅にいるとき

- 最大震度 5 弱以上の地震の発生が推定される場合に、震度 4 以上が予想される地域には、「緊急地震速報」がテレビ、ラジオ、携帯電話、スマートフォンなどを通じて流れます（震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります）。

### 取るべき行動

「緊急地震速報」を見聞きしたら、身を守るための行動を取る必要があります。



- 頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れましょう。
- 屋外では、ブロック塀の倒壊等に注意してください。

命を守る行動を取りましょう。その後、揺れが収まってから避難行動を開始しましょう。

- 大きな家具から離れるなど、落ち着いて自分の身を守りましょう。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保してください。

安全の確認、避難の準備・開始

- 家族の安全を確認しましょう。
- ラジオなどで情報を得てください。
- 火の元を確認、初期消火を行いましょう。
- 隣近所の安全を確認しましょう。
- 次の地震に注意しましょう。
- 電気のブレーカーを切りましょう。
- 足のけがをしないように靴を履きましょう。

津波避難対象地域の方は津波から避難する！

※沿岸部にいる場合は、すぐに津波が襲来することがありますので、情報を待たずに避難を開始しましょう。

津波からは、より「遠く」より「高く」避難する

①津波避難目標地点へ避難する

- 喜瀬川より西の地域は**大中遺跡公園**へ、避難してください。
- 喜瀬川より東の地域は**野添北公園**へ、避難してください。



②逃げ遅れたら、緊急的に津波避難ビルへ

津波避難ビルとは、町と協定を結んだ高層階を有するビル等、緊急的かつ一時的に津波・高潮・洪水から退避する施設です。



火災等の避難の必要がある場合、一時避難地、広域避難地へ避難する



一時避難地とは、公園等の空地で、小規模災害からの危険を回避する場所です。



広域避難地とは、大きな公園等の空地で、大規模災害からの危険を回避する場所です。

当面の危険が去ったら、自宅か避難所へ

避難所とは、自宅が被災し、住居を失われた方を一時的に受け入れる施設です。

- 壊れた家には入らないようにしましょう。
- 自宅の安全が確認できた場合には、自宅に留まることも選択肢の一つです。
- 地域で協力して、消火、救出活動を行いましょう。
- 避難所では、集団生活のルールを守り、助け合いましょう。



(回答) 普段から家の内外の安全対策をしてください

- 地震によって建物が倒壊しない場合でも、大きな家具の転倒やガラスの飛散などにより、ケガをしたり、閉じ込められたりするおそれがあるので、今すぐ地震対策を行いましょ。

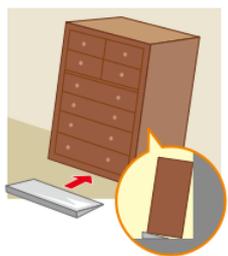
### 収納に工夫を

- ダンスや本棚などにもものを入れる場合は、重いものは下に、軽いものは上に収納するようにしましょう。



### 置き方に工夫を

- 家具の下部前方に転倒を防止するための板などを入れ、壁にもたれ気味にしましょう。
- 出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。

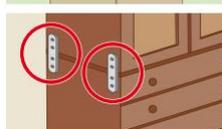


地震のときに家具などが就寝部分に倒れたり、避難経路をふさぐ位置に配置しないようにしましょう

### 耐震金具の利用を

#### 転倒防止金具

壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、天井などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。



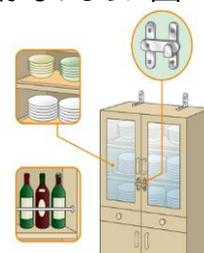
#### 重ね留め用金具

重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎましょう。



#### 扉・引き出し開放防止金具

地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定します。さらに、収納物の落下を防止するために棚板にふきんを敷いたり、木や金属棒などで飛び出し防止枠をつけると安心です。



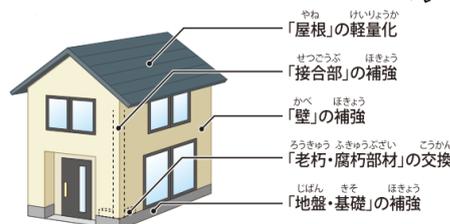
### ガラスの飛散防止を

- 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。
- 手近な取り出しやすい所に運動靴などを用意しておく、災害時の足のケガを防止できます。



- 地震から自分の家族の命を守るために、住宅の耐震化を行いましょ。播磨町では、昭和56年5月31日以前に着工した住宅は無料で「簡易耐震診断」を受けることができます。詳しくは町のホームページをご確認ください。

播磨町 簡易耐震診断



## 質問 避難所に避難したときにすることはありますか？



(回答) 円滑な避難所の運営にご協力をお願いします。

- 災害が起こった時に被害を受けやすいのは、高齢者、障害者、乳幼児や妊産婦、外国人など（要配慮者といひます。）です。避難生活での身体的負担による疾病で亡くなられる方もいらっしゃいます。災害で助かった命が失われないよう、こうした方々に対しては、家族や地域で助け合うことが大切です。
- また、大規模な災害が起こった時は、播磨町職員だけでは、十分な避難所運営を行うことは困難です。避難所生活を余儀なくされる場合などは、自主防災組織や避難者を中心とした避難所の運営に御協力ください。

この概要版についての質問などは、播磨町危機管理課までお問い合わせください。

(電話)079-435-0991

(ファックス)079-435-7901

(メール)kikikanri@town.harima.lg.jp